

**製品名: FoxL1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11092**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FOXL1
別名	FOXL1; FKHL11; FREAC7; Forkhead box protein L1; Forkhead-related protein FKHL11; Forkhead-related transcription factor 7; FREAC-7
遺伝子 ID	2300.0
SwissProt ID	Q12952
免疫原	抗血清はヒト FOXL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

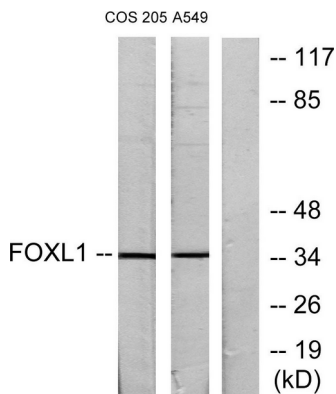
この遺伝子は、フォークヘッド/ウィングドヘリックスボックス (FOX) 転写因子ファミリーの一員をコードしています。FOX 転写

因子は、明確な DNA 結合フォークヘッドドメインを特徴とし、代謝、細胞増殖、個体発生における遺伝子発現など、複数のプロセスの制御において重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2012 年 11 月],類似性: フォークヘッド DNA 結合ドメインを 1 つ含みます。、

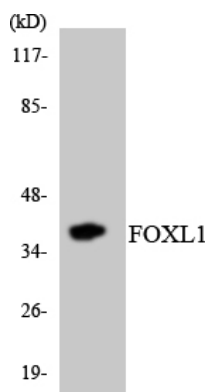
## 研究分野

-

## 画像データ



FOXL1 抗体を用いた COS7 細胞および A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FOXL1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



FoxL1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。